

教科	工業	科目名	インテリア製図	単位数	2
学科	インテリア	学年	2 学年	履修区分	必修
使用教科書	インテリア製図(株式会社 コロナ社)				
副教材など					

1. 科目の目的

家具や室内空間だけでなく、建築製図や工業製品における機械製図を、一年次で習得した三面図を理解し表現する力を生かし、実際の寸法を読み取り、手描きおよびCADを利用して、三面図それぞれの関係性を正しく理解し、図面を作成する能力と態度を育成する。

2. 授業の内容と進め方

1学期は、日本工業規格による寸法記号の記入方法や第三角法による三面図の作図など基本的な製図技術を学習し、「機械製図検定一次・二次試験」によりその習熟度を確認する。2、3学期は、木造住宅の平面図、立面図、断面図の作図により、「インテリア装備」で学習する木構造の理解を深める。また、jw-cadでの作図を通して、操作方法を習得する。

3. 学習する上での留意点

日本工業規格による寸法・記号の記入方法など基本的な製図技術を確実に習得させるために、模擬試験等を行ない個々の理解度を確認しながら、理解が不十分な生徒に対し個別指導を徹底する。

また、木造住宅の図面作成においては、インテリア・住宅の総合的な知識(寸法・構造・法規等)が問われるため、個々の進行状況を把握し個別指導を徹底することでただ模写するだけの図面にならぬよう留意し、「インテリア計画」「インテリア装備」などの他教科との連携を計る。

4. 課題等について

- ・機械製図検定前には朝補習を実施し、理解が不十分な生徒に対し、別途個別指導を行う
- ・提示した課題を提出期限までに提出させる。
- ・授業で不足する時間は自主学習とする。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	・インテリア・建築・機械製図について関心を持ち、作成に意欲的に取り組んでいるか。 ・自主学習に努力し、課題を遅滞なく提出しているか。
思考・判断・表現	・必要条件に基づいた作図を正確におこない、作業手順を考え表現できるか。
技能	・道具を正確に使い、丁寧に表現できるか。 ・CADのそれぞれのコマンドを理解し、効率よく図面作成ができるか。
知識・理解	・製図規約、エレメント記号、立体の投影図法等の知識が正確でよく理解しているか。 ・住宅の構造を理解し、正確に表現できるか。

6. 評価の方法

評価の観点に基づき、次の項目について総合的に判断し評価する。

- 1) 各課題の提出状況及びその内容(設計条件の理解・図面の完成度・丁寧さ)
- 2) 出席状況、学習意欲、学習態度、学習に取り組む態度を評価する。

